

公開シンポジウム

デジタル社会における多様性が尊重された学び ——ICT×DE&Iの可能性——

現代社会では、デジタル技術の進展が教育現場に大きな変革をもたらしています。同時に、多様性 (Diversity)、公平性 (Equity)、包摂性 (Inclusion) (以下、DE&I) の重要性が注目される中、多様な背景や価値観を持つ人々を尊重し、平等な機会を提供し、誰もが受け入れられる環境を整えることが教育における喫緊の課題となっています。しかし、ICT を活用しながら、いかにして多様性を尊重する学びを実現するかについては、いまだ模索が続いている状況です。

そこで、教育方法学研究室では、内閣府の戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) の一環として、国内外における探究学習およびデジタル・テクノロジーの活用に関する先進事例の調査や、教育現場が抱える多様なニーズ (DE&I の視点など) を踏まえた探究学習について研究を進めています。本シンポジウムでは、デジタル技術の進展が社会における多様性をいかに支えうるのか、ICT が様々な教育の場面でどのような役割を果たしうるのかを検討します。そのために、探究的な学びを支えるデータサイエンス教育の開発事例や、多言語・多文化な環境にある米国ハワイ州での探究的学習と ICT 活用の事例など、ICT と DE&I のかけ算によって生まれた先進的な実践例を共有します。こうした事例をもとにして、Society5.0 時代においてデジタル技術が多様性をどのように支え、学びを革新していくのかを議論します。

2025年3月23日(日)

14:00~16:00

(受付 13:30~)

会場：京都大学本部構内

総合研究8号館 講義室2

対象：学校の先生方、教育委員会の関係者、
教員志望の学生 (定員 80名程度)

参加費
無料

プログラム：

- 14:00-14:05 趣旨説明：石井英真 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)
- 14:05-14:35 「米国ハワイ州における探究的な学習の諸相：ICT・DE&I・『場所に根ざした教育』の観点から」
岡村 亮佑 (京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程3年)
田野 茜 (京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程1年)
- 14:35-15:05 「デジタル社会における多様性の眼差し」
久富 望 (京都大学大学院教育学研究科 助教)
桑川 薫樹 (京都大学大学院教育学研究科 博士後期課程1年)

休憩 10分

- 15:15-15:25 指定討論：木村 裕 (花園大学文学部 教授)
- 15:25-15:55 フロアからの質疑応答・ディスカッション
- 15:55-16:00 まとめ

司会：石井英真 (京都大学大学院教育学研究科 准教授)

「米国ハワイ州における探究的な学習の諸相 : ICT・DE&I・『場所に根ざした教育』の観点から」

岡村亮佑

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程 3 年・
日本学術振興会特別研究員 (DC)。京都大学修士
(教育学)。専門分野は、教育方法学 (カリキュラム
論・教師教育論)。探究学習のカリキュラム開発のあ
り方や様々な事例に関しても研究をしています。

田野 茜

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程 1 年・
日本学術振興会特別研究員 (DC)。京都大学修士
(教育学)。専門分野は、教育方法学 (多文化教育・
日本語教育)。言語的・文化的に多様な背景を持つ
学習者への教育について研究しています。

「デジタル社会における多様性の眼差し」

久富 望

京都大学大学院教育学研究科 助教 (情報担当)。
高校・学習塾など 10 年以上勤務した経験を持つ。
教育データ利活用を専門とし、情報学・教育学と教
育現場を繋ぐ研究活動を行っています。

糸川薫樹

京都大学大学院教育学研究科博士後期課程 1 年・
日本学術振興会特別研究員 (DC)。京都大学修士
(教育学)。専門分野は、教育方法学 (芸術教育・教
育思想史・教育における ICT 活用)。主に 20 世紀
ドイツにおける徒弟的な芸術教育の諸思想について
研究するほか、探究学習・データサイエンスを主な対
象としたカリキュラムとアプリケーションの開発を行っ
ています。

指定討論者

木村 裕

花園大学文学部教授。京都大学博士 (教育学)。
教育方法学を専門分野とし、持続可能な開発のた
めの教育 (ESD) や開発教育などのカリキュラム
開発や授業づくり、教育評価のあり方などに関す
る研究に取り組んでいます。

※本公開シンポジウムは、内閣府による SIP (戦略的イノベーション
創造プログラム) の課題「ポストコロナ時代の学び方・働き方
を実現するプラットフォームの構築」における研究開発「真正で
探究的な学びを実現する教育コンテンツと評価手法の開発」
(研究開発責任者: 松下佳代) の一環として開催いたします。

アクセス :



受付 会場

京都大学本部構内

総合研究 8 号館 講義室 2 (2 階)

※北側の外階段を上がってお入りください。

お申込フォーム :

<https://forms.gle/3USPhsI duXBsfeoP9>

右下の QR コードからもアクセスいただけます。

申込締切: 3 月 10 日 (月)、但し、定員になり次第締め切ります。

※なお、同日午前より開催している第 20 回実践交流会に
お申込みされている E.FORUM 会員の方は、本シンポジ
ウムへのお申込みは不要です (実践交流会のプログラム
の中にシンポジウムを含んでいます)。



お問い合わせ

京都大学大学院教育学研究科 E.FORUM 事務局

e-forum@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp